

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2023年1月11日 実施報告

参加者：親子2組（子ども2名）

担当：心理学部学生4名（プログラム実施C2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 福本・高木

内容：鏡開きを楽しもう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は年始に関連した鏡開きをテーマにお餅作りから鏡開きまでの過程を、身体を動かし、いろいろな感触を楽しんでもらいながら実施しました。

お餅作りでは、臼と杵を使って布で作ったお餅を歌に合わせてつきました。お子さんたちは初めての餅つきでしたが、学生の手本をよく見て上手にお餅をついていました。少しいたところでお餅をさわりました。お子さんたちはお餅を手でもんだり、杵でたたいたり、持ち上げたりして感触を楽しんでいました。

次に、見本と手元のお餅を見比べて、足りないもの（だいたい）を考えてから、だいたいを探しました。お子さんたちが積極的にだいたいを手に取り、重ねたお餅の上に乗せてくれたおかげで、鏡餅を完成させることができました。最後に槌を使って鏡開きをしました。中から出てきた紙粘土製の大小あるお餅で積み木を楽しんでもらいました。

今回のプログラムでは、お子さんたちにさまざまな感触を楽しんでもらえるように、餅の素材として柔らかな粘土を用いるなど、手触りを工夫しました。保護者の方にお子さんがお餅を口に入れないように注意いただくなど、ご協力いただいたおかげで安全に進めることができました。参加してくださった皆様、今回のプログラムをサポートしてくださった先生方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



文責：C2班 菅野、岡田、新関、北野原

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年12月21日 実施報告

参加者：親子2組（子ども2名）

担当：心理学部学生4名（プログラム実施C-1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 福本・矢崎

内容：クリスマスリースを作ろう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは、クリスマスにちなんでクリスマスリースを作成し、季節の行事を体験してもらいました。また、細かい動作を多く取り入れ、指先の発達を促すことに加え、お花紙を握った“くしゃくしゃ”という音も楽しんでもらえるような工夫をしました。

初めに、クリスマスリースにお花紙やシールを飾り付けました。お子さんは、お花紙を保護者の方々や学生と一緒にくしゃくしゃと握り、飾りをお子さん自身で選び、仕上げていました。

次に、クリスマスツリーの飾りつけでは、お花紙に加え、画用紙で作成した飾りも貼り付けました。貼り付ける際、「ぺったん」という声掛けをすると、声に合わせて飾りを貼り付けていました。

最後に、サンタクロースが登場。お子さんが驚いてしまい、ひやりとしましたが、サンタクロースがお土産に持ってきてくれた風船をお子さんが受け取った後、風船で楽しく遊んでいたことに安心しました。

プログラムに積極的に参加してくださったお子さんたちと保護者の方々、協力してくださった保育士スタッフの方々、先生方のおかげでプログラムを成功させることができました。本当にありがとうございました。



文責：C-1班 山野、早川、堤、大塩

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年12月14日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施C-3班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 下村・矢崎

内容：年賀状を作ろう！～スタンプを押そう～

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は、お子さんと一緒にお母さんに送る年賀状を作成しました。最初に年賀状の説明で「みなさんの、ばあばの、ばあばの、ばあばの、ばあばの、ばあば・・・くらい、昔の人から行われている習慣です」と、学生が「ばあば」に拍子をつけて声をそろえると、お子さんたちも体を揺らして「ばあば」と言ってくれました。

次に大きな年賀状にスタンプを押す様子を見せると、お子さんたちは興味を持って近づいてきてくれました。

年賀状作りでは年賀状に見立てた画用紙にスタンプを押したり、線が描かれていくのを面白そうに眺めたりと、みんなで一緒に楽しむことができました。

手でスタンプの感触を楽しむ子や、色鉛筆が転がるのを面白がる子がいて、お子さんたちの感覚の鋭さや遊ぶ力を感じました。

最後に出来上がった素敵な年賀状をポストに入れ、お母さんに届けました。お子さんは「どうぞ」「ありがとう」が大好きで、繰り返し手渡しを楽しんでいました。

干支の話や年賀状の文化の話は少し難しかったと思いますが、少しずつなくなっていく年賀状の習慣を、遊びの中で味わってもらえたらと思いました。ご参加いただきありがとうございました。



文責：C-3班 松本、松尾、小田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年11月30日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 B-1 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 福本・高木

内容：どうぞのいす～どうぶつ達にどうぞしてみよう～

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回の「学生と遊ぼう」は、秋のたべものを作って遊びました。作った秋の食べ物を「あげる」、「もらう」の動作を繰り返すやり取りを通してコミュニケーションの大切さを学べるように考えました。

まず、〈どうぞのいす〉という、絵本をアレンジした劇をしました。次々と出てくる動物たちに、お子さんたちはとても笑顔で楽しんでいました。いすを作ってくれたうさぎさんにお礼をするため、秋のたべものにシールを貼ったり、クレヨンで色を塗ったりして、飾りつけをしました。「あか!」「みどり!」と色の名前をいいながら、好きな色のシールやクレヨンを探して、上手に飾りつけをしていました。

秋の食べ物を作ったあと、「どうぞ!」「ありがとう!」と掛け声をして、どうぶつ達や保護者の方々に、あげたりもらったりするやりとりをして遊びました。何度も繰り返して楽しんで遊んでいました。

皆さんと楽しくコミュニケーションの大切さについて学ぶことができ、とても嬉しかったです。ご自宅でも今回行ったやりとり遊びで遊んでいただければと思います。

このたびはご参加いただきありがとうございました。



文責：B-1 班 沖野、阪脇、庄司

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年11月16日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 B-3 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 下村・高木

内容：さかなをつろう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は「さかなをつろう！」というテーマで、さかなを作って釣ってもらうというプログラムを行いました。

最初に「いわしのひらき」という手遊びをしました。学生の手遊びの動きにビックリして見ていただけのお子さんたちが、だんだん体を揺らしてリズムに乗り、動きを真似してくれるようになりました。

さかなの工作では、透明なビニール袋に材質と色の違う紙を入れて「さかな」の形をつくり、うろこのかわりにシールを貼って、最後に「目」を貼って完成させました。お子さんたちは、紙を何度も丸めてビニール袋に入れるなど、細かな作業も指先を上手に使って取り組んでいました。柔らかい紙を選んで丸めたり、硬めの紙を細かく破ったり、ハートのシールを1つ選んで貼ったり、それぞれオリジナルのさかなを作りました。

さまざまな紙の感触を楽しんでもらえるよう工作には柔らかい紙と硬い紙の両方を準備し、さかなに鈴を入れることで、音も楽しんでもらえるように工夫しました。

磁石を使ったさかな釣りでは、お子さんたちは集中してさかなを釣り上げ、学生にも見せてくれて、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年11月9日 実施報告

参加者：親子2組（子ども2名）

担当：心理学部学生4名（プログラム実施B-2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育スタッフ 下村・矢崎

内容：「秋を作って遊ぼう～ペタペタ～」

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は絵本の世界を通して秋を感じ、想像力を育んでもらうとともに、みんなで一緒に絵本に出てきたものを作成し、楽しめるプログラムにしました。

はじめに、秋を感じてもらうために「あきといえば」という絵本を読みました。単調にならないよう、「もみじ」や「さつまいも」という秋に関するものの名前を読むときは、学生全員で声を合わせ、メリハリがつくように工夫しました。お子さんたちは学生と一緒に、登場した秋に関するものの名前を絵本の絵を指差しながら読みました。

次に絵本に出てきたものを工作。「とんぼの羽」の作成では、好きな色のスタンプを選び、手に色を付けて、トンボの羽のようにスタンプしました。次に、親御さんにペンを渡してトンボの目を描いていただくようお願いすると、お子さんが自分からペンに手を伸ばし、描いていました。

「もみじの葉」の作成場面では、親子で小さなもみじの木を作成後、みんなで協力して大きなもみじの木を作成。お子さんたちに大きな木の絵を見せると、自分からすぐに前に出て来てもみじの葉をスタンプしていました。

個人で作成した作品は、ご自宅にお持ち帰りいただき、月日が経ってから見返し、上から手を重ねて成長を感じていただけるものにしました。参加してくださったお子さんと保護者の皆様が、お家でも楽しんでいただけたら大変嬉しく思います。



文責：B-2班 堀、山本、横山、山路

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年10月26日 実施報告

参加者：親子2組（子ども2名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 A-3班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 福本・矢崎

内容：ハロウィンパーティーに行こう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは、10月31日の「ハロウィン」にちなんで、ハロウィンパーティーを行いました。みんなでカボチャの衣装を着て仮装したり、おばけのパーティーというダンスを踊ったりと、秋の行事を楽しんでもらえるような構成にしました。

最初に保護者の方にご協力いただき、お子さんはスムーズに手作りのカボチャの仮装をしました。

次に、実のように木にくっついているフェルトのアメを取って、カゴに入れるという遊びをしました。アメはしっかり木にくっついていたので、かなり力が必要でしたが、お子さんたちは指に力を入れたり、手をひねったりと、力の入れ方を工夫してアメを上手にもぎ取っていました。アメを選ぶときは、「きいろ」「あか」などアメの色を言ったり、学生に「これ」と指さしてくれたりしながら、アメの収穫を楽しんでくれていました。

最後のダンスは、小さなお子さんでも楽しめるようにシンプルな振り付けを繰り返すものでした。学生に合わせて元気よくゆらゆら揺れて踊り、3回目には自分から「ばあ！」と大きく手を広げて見せてくれた姿が、とても印象的でした。

今回は、2組の親子に参加していただきましたが、保護者の方のご協力もあり、スムーズに、楽しくプログラムを進行させることができました。ご参加いただいた親子の皆様、スタッフの方々、先生方、本当にありがとうございました。



文責：A-3班 浅野、十時、玉田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年10月19日 実施報告

参加者：親子2組（子ども2名）

担当：心理学部学生2名（プログラム実施 A-1 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：おもいさんのおもいをつくらせてあそぼう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは、絵本「おもいさんがね…」を題材として、みんなでおもいさんのツタを引っ張って体を動かしたり、おもいさんのおもいをつくらせて遊ぶなかで、「秋」という季節を楽しんでもらえるような構成にしました。

最初に「おもいさんがね…」の絵本の世界観を子どもたちと共有するために劇を行いました。学生がおもいさんのお面をつけておもいさんになり、眠っているおもいさんを起こすための掛け声を真似してもらったり、大縄をツタに見立てて一緒に引っ張ったりしました。

次に、おもいさんたちのために、真っ白の大きな葉っぱにフェルトや画用紙を張り付け、おもいさんを作ってもらいました。おもいさんを作る素材には、フェルトで作った葉っぱのほかに、ハートや丸の形をした画用紙を加え、手にふれる素材の感触の違いを楽しんでもらう工夫をしました。

特に赤い丸の形や黄色いハートが気に入ってくれたようで、私たちに示しながら貼り付けていたことが印象的でした。途中からは子ども同士で材料を渡し合う様子も見られ、思いやりの気持ちが育っていることに驚きました。

お子さんへの声掛けなど保護者の方や先生方、保育スタッフの皆さまのおかげで楽しく順調にプログラムを進めることが出来ました。当日に参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年10月12日 実施報告

参加者：親子1組（子ども1名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 A-2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：うたとからだで楽しむ「秋」

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は、「うたとからだで楽しむ秋」というテーマをもとに、秋といえば思い浮かぶ、焼き芋やどんぐりが登場するプログラムを行いました。プログラムを通して、お子さんが保護者の方、また学生らと触れ合いながら主体的に楽しめるようにと考えました。

はじめに、「やきいもグーチャーパー」の手遊びをした後、画用紙で作った落ち葉の山の中から、紙粘土で作ったやきいもを探してもらった焼き芋探しをしました。ガサゴソ音が鳴る落ち葉の感触を楽しんでもらい、焼き芋を掴むという動作を通して物を扱うときの力の調節を体感してもらいました。

次に、「どんぐりころころ」の手遊びをしたあと、歌のストーリーに合わせて、池からどんぐりを運び出して木に戻すという遊びを行いました。どんぐりを掴んだり、運んだり、木に貼り付けるという動作を通して、身体を大きく動かして運動能力の向上を促しました。

プログラムには1組のご家族が参加してくださり、学生とお子さんがより近い距離で一緒に取り組むことができました。特に、どんぐり運びの際に、お子さんが学生に“どうぞ”と笑顔でどんぐりを手渡してくれたことが、とても嬉しい思い出となっています。どんぐりを拾いながら子育てサロンまで来てくださったとのことで、一緒に季節を感じることができて本当によかったです。ご参加くださったご家族、先生方、スタッフの方々、ありがとうございました！



文責：A-2 班 森田、西川、内田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年7月6日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生4名（プログラム実施C-1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：体をつかってあそぶ「七夕」

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは、身体を動かしながら、「七夕」という季節の行事を保護者の方々やお友達と楽しく体験してもらえるように考えました。また、「体をつかってあそぶ」ことを目的に、大きく体を動かしたり、手先を使ったりする動作を遊びの中に取り入れる工夫をしました。

最初に「七夕さま」の歌に合わせて踊りました。次に、青い布を天の川に見立て、その上を白い紙風船の「雲」で覆いました。その「雲」をうちわであおいで吹き飛ばし、雲がなくなった天の川に、星を貼りつけました。お子さんの中には、星の裏の両面テープを上手に剥がしたり、色の区別をしたりすることができる子もいました。

天の川が完成した後、これをトンネルにしてくぐって遊びました。学生のお手本を見て、お子さんたちは何度も天の川をくぐり、タンバリンにタッチしてくれました。プログラム最後の風船遊びでは、紙風船を高く上に投げたり、投げ合ったり、転がしたりなどそれぞれのお子さんが好きな遊び方をしていました。

お子さんへの声掛けなど保護者のみなさまの協力で、プログラムを順調かつ楽しく進めることができました。当日のプログラムに参加していただいたお子さんたちと保護者の方々、協力していただいた保育スタッフの方々、先生方本当にありがとうございました。



文責：C-1班 山野、早川、堤、大塩

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年6月22日 実施報告

参加者：親子4組（子ども4名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 B-3班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 福本・矢崎

内容：どうぶつさんに会いに行こう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は「どうぶつさんに会いに行こう！」というテーマの下、電車に乗って動物に会いに行き、動物の真似をしてもらうというプログラムを行いました。プログラムを作成するにあたり、電車に乗って動物に会いに行くというストーリー性や次々に動物が出てくるというワクワク感を意識しました。

始めに電車に乗って移動するという設定で一列に並び、学生の後ろをお子さんと保護者の方についてきてもらいました。お子さんは自分で歩いたり、保護者の方に抱っこされたりしながらついてきてくれました。電車が到着すると、ウサギ、ゴリラ、カンガルーの順に動物が登場し、お子さんにはそれぞれの動物の真似をしてもらいました。ウサギでは、床に置いたフラフープを保護者の方と一緒にまたぎ、その後タンバリンを叩く遊びをしました。中には一人で両足をそろえて上手にジャンプできるお子さんもいて驚きました。ゴリラでは、果物に見立てたボールを拾ってもらい、かごの中に入れてもらう遊びをしました。カンガルーでは、お子さんは保護者の方の脚の上に上手に座ることができていました。

保護者の方のご協力もあり、スムーズにプログラムを進めることができ、あっという間に楽しい時間が過ぎました。ご参加いただいた皆様、先生方、スタッフの方々、本当にありがとうございました。



文責：B-3班 車、鷺田、原

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年6月8日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 B-1 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 下村・高木

内容：歯を磨こう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ



今回の「学生と遊ぼう」は、6月4日の虫歯予防デーにちなんで、歯磨きの遊びを考えました。一緒に歯ブラシの工作をした後、むし歯退治の遊びをすることで、歯磨きの大切さを楽しく学んでもらおうと思いました。

はじめに、パネルに画用紙で作った子どもの顔を貼り、虫歯になってしまった子どもの劇をしました。口を開くと虫歯が見える仕掛けにしたところ、お子さんたちは興味津々で見てくださいました。そして、虫歯の子どもの歯磨きをするお手伝いをしてもらいました。画用紙で準備した歯ブラシにシールを貼ってもらい、オリジナルの歯ブラシを作って遊びました。「黄色！ハート！」と、シールの色や形を言ってくれたり、「どこにはろうかな？」と迷いながら楽しんでくれたり、私たちも楽しく、とても嬉しかったです。次に、パネルに貼った虫歯の前で歯ブラシを上下に動かし、「磨いてあげよう！」とお子さんたちを誘ったところ、上手にマネをして、繰り返し歯磨きをしてくれました。



皆さん、積極的に協力していただいたおかげでプログラムを成功させることができましたと思います。今回のプログラムで歯みがきの習慣を身につけていただければ、とても嬉しいです。このたびはご参加いただき、本当にありがとうございました。



文責：B-1 班 沖野、阪脇、庄司

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年5月25日 実施報告

参加者：親子5組（子ども5名）

担当：心理学部学生3名（プログラム実施 A-3班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育士スタッフ 下村・矢崎

内容：絵本の世界を楽しもう「だるまさんの」「だるまさんが」

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は「だるまさんの」と「だるまさんが」の絵本を用い、読み聞かせや動作の模倣を通して、絵本の世界を楽しんでもらえるようなプログラム作りしました。「だるまさんの」の絵本は0歳から楽しめる、とてもシンプルでユーモアのある絵本です。

初めに「だるまさんの」の絵本を2回聞いてもらい、続いてだるまの工作物を見てもらいました。工作物には大きくなった目、鼻、口などを貼り付け、お子さんたちに変化した部分を探してもらいました。中には、大きくなったパーツを指さして大きな声で教えてくれるお子さんもいました。親子で顔や体のパーツを確認してもらいながらたくさん触れ合ってもらうことができました。

次に、「だるまさんが」を読み、絵本に出てくる「だるまさん」の動きを学生と一緒に真似してもらいました。お子さんたちは元気よく、笑顔で集中しながら参加してくれました。

今回のプログラムでは、ただ絵本を読むだけではなく、工作物や身体の動きを用い、お子さんたちに豊かな表現力を養ってもらえるように工夫しました。また、当日はお子さんや保護者の方との触れ合いを通して、たくさんのお話を学ばせていただきました。

ご参加くださったお子さんと保護者の皆様、スタッフの方々、先生方、本当にありがとうございました。



文責：A-3班 浅野、酒居、玉田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年5月18日 実施報告

参加者：親子8組（子ども10名）

担当：心理学部学生 4名（プログラム実施 A-2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育スタッフ 福本・高木

内容：体をつかってあそぼう「たんけんにいこう！」

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は「たんけんにいこう！」というテーマを元に、学生が隊長・動物になって冒険に出かけるという寸劇を行いました。これらを通して、お子さん・保護者の方々・学生一体となって大きく体を動かし、一緒に楽しめるようなプログラムを考えました。

初めに音楽に合わせてぐるぐる歩くことで、体を動かす準備を行いました。隊長と手を繋いだり、動物と楽器を鳴らしたり、それぞれ楽しみながら歩いてくれました。次に、保護者の方にも参加してもらい、身体で作ったトンネルをくぐり、さらに『おふねがぎっちらこ』では、保護者の方に舟になっていただきお子さんを膝の上に乗せ、歌に合わせて舟を漕ぎました。最後におもちゃを用いて山登りを行いました。各所に山に見立てたブロックのおもちゃ、トンネルに見立てたフラフープ、ゴール地点でタンバリンを叩くというコースを作りました。最初はあまり積極的でなかったお子さんも、保護者の方々が先導してくださったことにより、最後にはお子さん自ら積極的にプログラムに参加してくれました。

たくさんのご家族が参加してくださり、性格もさまざまなお子さん、保護者の方々と関わることができ、とてもいい勉強になりました。参加してくださった皆様、先生方、スタッフの方々のご協力によって成し遂げることができました。私たちのプログラムに参加して下さって、本当にありがとうございました。



文責：A-2班 森田、瀬尾、西川、内田

# 子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2022年5月11日 実施報告

参加者：親子3組（子ども5名）

担当：心理学部学生4名（プログラム実施 A-1 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 中村 / 保育スタッフ 下村・矢崎

内容：「母の日」のプレゼントをつくってあそぼう！

## タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは「母の日」にちなんで、花束を模した工作をお母さんにプレゼントするというものでした。工作の前にまず、絵本「なでなでなで」を参考にした遊びを行いました。いろいろな動物の絵を見てもらい、「まあるいあたまはどこかなー？」と声をかけて一緒に頭をなでなでする等、保護者とお子さんに触れあっていただきました。

次に花束の工作です。布で作ったスタンプに絵の具をつけ、緑の茎の描かれた画用紙に花びらのように色を捺します。学生がお手本を見せると、お子さんたちはあっという間にマネできるようになりました。まだスタンプを握ることが難しいお子さんも、面白そうに見てくれました。できあがったキレイなカーネーションは、お子さんから保護者にプレゼントしてもらう予定でしたが、絵の具がしっかり乾いていなかったのでご自宅で行っていただくようお願いしました。この時お子さんから保護者をなでなでしてねとお伝えしました。普段あまりないような気持ちを感じていただけていたら嬉しいです。

今回のプログラムでは、お子さんの年齢に合わせてコントラストのはっきりした画用紙の色を選び、スタンプは握りやすさを工夫しました。全体を通して保護者のみなさまにご協力いただき、ほぼ準備通りに進めることができました。お子さんとも笑顔で一緒に楽しむことができ、講義授業だけでは学べない多くのことを得ました。お越しくださり、本当にありがとうございました。

